

ellipse

[エリプス]

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を[エリプス]と名づけました。

TOPICS

寄稿レポート

卒業後のわたしたち

—現在・過去・未来—

～2024年7月27日開催 第26回国際日本学シンポジウムより～

芹澤 良子 氏



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人

お茶の水学術事業会

REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

COLUMN

事業会スタッフのよもやま話

INFORMATION

イベント情報

事務局よりお知らせ

TOPICS

寄稿
レポート

卒業後のわたしたち

—現在・過去・未来—

～2024年7月27日開催 第26回国際日本学シンポジウムより～

お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所
比較日本学教育研究部門
アカデミックアシスタント

芹澤 良子 (2012年3月 お茶の水女子大学人間文化研究科 修了)

はじめに

2025年11月29日、わたしたちが学ぶお茶の水女子大学(以下、お茶大と略記)は、創立150年を迎えます。東京女子師範学校、東京師範学校女子部、東京女子高等師範学校、そして、お茶大と時代の変化の中で何度か呼び名は変わりましたが、女性の学び舎としてその歴史を刻んできました。

コンピテンシー育成開発研究所比較日本学教育研究部門では、2023年度より神田由築先生と三名の卒業生(加藤厚子氏・和田華子氏・芹澤良子)が研究プロジェクト「お茶の水女子大学と桜蔭会に関する多角的研究」を三年計画で実施しています¹。このプロジェクトは「卒業生」、「同窓会」、「女子大学」と三つの視角から「女子大学の歴史的意義」について考察するもので、一年目となる2023年は、お茶大150年の歴史の主人公ともいえる「わたし=卒業生」をキーワードに、『わたし』にお茶大がくれたもの—あなたにとってはなんですか?』を開催しました。当日は、大学時代の経験とそこから得たものとは何かと検討することから、学生の目からみたお茶大の歴史を明らかにしました²。二年目となる2024年度は、お茶大に加え、聖心女子大学、そして東京女子大学の研究者を交え、三つの女子大学で学んだ「わたしたち=卒業生たち」を主人公に、女子大学で学んださまざまな経験を起点とし、卒業後もつながる人的ネットワークに注目しながら、過去から未来へとつながる女子大学の歴史的意味

を考察しました。本稿では、第26回国際日本学シンポジウム「卒業後のわたしたち—現在・過去・未来—」について紹介したいと思います³。

卒業後のわたしたち—現在・過去・未来—

女子専門学校や女子高等師範学校など女子の高等教育機関への進学率が1%程度といわれた戦前から存在し、お茶大同様に100年以上の歴史を刻む大学に、創基100年を超える聖心女子大学⁴、今年、創立107周年を迎えた東京女子大学⁵があります。昨年度の国際日本学シンポジウムは、研究プロジェクトのメンバーに加え、本学の卒業生で東京女子大学教員の大江洋代氏、聖心女子大学教員の土田宏成氏・事務職員の津久井恵子氏、そして、本学の卒業生で専修大学教員の鹿住倫世氏と本学教員の難波知子氏の協力を得て開催しました。

シンポジウム当日は、神田先生の司会のもと、佐々木泰子学長の「開会の辞」から始まりました。冒頭、佐々木学長は、女子大学が多様化する中で、女子大学とは何かを考える時期に来ていると指摘され、そのことはお茶大に限らず女子大学共通の課題であると述べられました。そして、今後は大学同士の横のつながりや大学の特徴を明確にするための比較研究が重要なカギとなるだろうと指摘されました。本シンポジウムでは、100年以上にわたり歴史を刻んできた本学、東京

1. コンピテンシー育成開発研究所は、「実践支援部門」、「総合知教育改革部門」、「学校教育改革部門」、「比較日本学教育研究部門」と四つの部門からなる研究所です。本シンポジウムを開催した比較日本学教育研究部門は、2004年より国際的・学際的なネットワークの拠点形成を目的とした活動を続けています。
2. 本シンポジウムの概要については、お茶の水学術事業会『ellipse(エリプス)』第63号、2024年、シンポジウムの全容については、お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所比較日本学教育研究部門『比較日本学教育研究部門研究年報』第20号、2024年を参照ください。
3. 本稿は、『比較日本学教育研究部門研究年報』第21号に掲載した、神田由築・芹澤良子「第26回国際日本学シンポジウム 卒業後

- のわたしたち—現在・過去・未来—【総括】をもとに加筆・修正を加えたものです。なお本稿で紹介する内容は、『第26回国際日本学シンポジウム—現在・過去・未来—』の特集記事の一部を要約したものです。詳細につきましては、『比較日本学教育研究部門研究年報』第21号をご覧ください(お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所比較日本学教育研究部門『比較日本学教育研究部門研究年報』第21号、2025年)。
4. 聖心女子大学 HP(沿革) (<https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/history/>) を参照。
 5. 東京女子大学 HP(トピックス[教育]) (<https://www.twcu.ac.jp/main/topics/2025/soritsukinen2025.html>) を参照。

女子大学、聖心女子大学の卒業生たちの取り組みを通じて、学生たちの目からみた女子大学と社会との関係とはどのようなものであったのか、を明らかにしていきたいと、開催の意図が説明されました。

当日の内容について、プログラムにそってご紹介したいと思います。

「終身学習を推進し社会変革をもたらす「コンピテンシー」育成基盤の形成」

第26回 国際日本学シンポジウム
卒業後のわたしたち
—現在・過去・未来—

日時：2024年7月27日（土）13：30～16：00
オンライン（Zoom）開催
要事前予約：申込締切 7月26日（金）正午

加藤厚子・芹澤良子・和田華子（お茶の水女子大学）
問題提起「大学卒業後のわたしたち
——「同窓」というつながりとその機能——」

難波知子（お茶の水女子大学）
「明治から昭和初期における同窓会主催の講習会
——卒業後の学びと教員ネットワーク——」

大江洋代（東京女子大学）
「戦前期における「女子大」同窓会の機能
——東京女子大学を事例として——」

土田宏成・津久井恵子（聖心女子大学）
「聖心女子大学同窓会のあゆみとその活動」

鹿住倫世（専修大学）
「女子大のキャリア教育における卒業生の役割
——お茶の水女子大学論ロールモデル講演を事例として——」
パネルディスカッション（司会・神田由菜）

【主催・問い合わせ】
お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所 比較日本学教育研究部門
https://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/index.html
E-mail: jimucjis@cc.ocha.ac.jp ※お問い合わせはメールでお願いたします

問題提起

最初の登壇は、加藤厚子氏です。加藤氏は先行研究における同窓会へのアプローチ方法や研究史を整理することから、同窓会研究の可能性をご報告されました。加藤氏によれば女子専門学校や女子大学の同窓会に関する研究は、事例研究が中心で女子のみの高等教育機関としての特性は明確化されてこなかったそうです。先行研究によると、同窓会活動は「ビジネス型」、「卒業教育型」、「ライフサポート型」の三つに分類され、そのうち女子大学は「ライフサポート型」に該当するとされてきました。加藤氏は、近年、「女性が無償で担うもの」とされてきた活動への認識が変化していることから、女子大学の同窓会活動についても再評価が必要であると言及されました。女子大学同窓会の特徴として「高学歴女性の連帯の場としての機能」、「リカレント・リスキリング教育の提供」、「結婚事業の実施」があり、女子大学同窓会は、フィー

ルドが異なるものの「ビジネス型」や「卒業教育型」の機能を複合的に有していることから横断的考察が研究視角として有用であり、社会的な位置づけの変化を踏まえて検討していく必要があるとまとめられました。

パネル報告

続いて五名の登壇者によるパネル報告が行われました。一人目は、難波知子氏です。難波氏は、戦前のお茶大（東京女子高等師範学校（以下、女高師と略記））の同窓会である桜蔭会が主催した「講習会」を中心に同窓生の学びや同窓会がつなぐネットワークの形成についてご報告されました。みなさんご存じのように女高師は、教員養成の学校でした。それゆえ、その同窓会組織である桜蔭会も女性教員団体としての性格を持っていたため、勤務校が夏期休暇を迎える時期に講習会を企画し、実施していました。講習会は「世界現勢研究」や「現今の支那」などの国際関係や社会問題など一般教養を深めるものから、「裁縫」、「西洋料理」などの実習を伴う実技形式のものまで、さまざまな内容で行われていました。難波氏によれば講習会の内容は、現職教員向けのものから「自己の向上や学問の探究を目指した学び」まで、時代やニーズによって異なるそうですが、卒業年の異なる同窓生が学びを共有する場として機能していたそうです。こういった同窓会活動が持つ「タテのつながり」は、地方におけるネットワークの構築やキャリア形成においても大きな役割を担い、卒業生同士の絆を深めていくものとして機能していたと難波氏は指摘されました。

二番目に登壇されたのは、大江洋代氏です。大江氏は、戦前における女子大（日本女子大学・津田塾大学・東京女子大学・お茶大）同窓会の活動内容とその中に込められた卒業生の意識を分析し、戦前、最も高い教育を受けた女性たちが社会において果たそうとした役割とはどのようなものかをご報告されました。そのうち同窓会活動の内容については、東京女子大学の同窓会を中心に分析され、大学の創立理念と同窓会活動には連続性が見られ、同窓会が「東京女子大学らしさ」を支え、励ます場として機能していたことを示されました。これを踏まえ大江氏は、四つの女子大学の「大学らしさ」と同窓会活動の関係性を「同窓会報の特徴」、「それぞれの同窓会が大事にしていること」の二つの視角から比較されました。その結果、戦前の女子大学同窓会とは、単なる親睦団体にとどまらない集団であり、創立の理念を自らの行動によって完成させようとする場として機能していたこと、さらには、自らが受けた最も高度な学びを社会還元するための器として機能していたことを明らかにされました。

三番目は、土田宏成氏と津久井恵子氏です。両氏は、聖心女子大学とその同窓会である「宮代会」について、概要、沿革、

そして活動内容について共同でご報告されました。聖心会は、フランスで創立されたカトリックの女子修道会で、1916年に日本で最初のカトリック高等教育機関私立聖心女子学院高等専門学校を開校し、戦後聖心女子大学が開学しました。同窓会は、1951年に初代学長マザーブリットのリーダーシップの下に基礎が築かれ、1969年より名称を「宮代会」として「会員の親睦」、「母校への協力」、「社会福祉活動」を三本の柱に活動を続け、2025年に法人化を予定しているそうです。初期の同窓会活動は、大学への協力や援助が中心でしたが、その後、奉仕活動が加わったとのこと。さかのぼれば、大学創立前から行われていた姉妹校の同窓会活動においても「社会貢献活動」や継続的な学びの気風が確認できることから、大学の活動への影響が指摘されました。分析を通じて、聖心女子大学の同窓会活動は、親睦と母校への協力という基本的な機能に加え、生涯学習的な性格やキリスト教精神の影響を受けた社会奉仕活動という特徴や社会とつながる場としての役割をもち、さらには建学の精神である「聖心スピリット」の継承・実践の場として機能を果たしてきたことに言及されました。

最後に登壇したのは、鹿住倫世氏です。鹿住氏は、2007年度から開講している「お茶の水女子大学論」を事例に、キャリア教育の観点から卒業生のロールモデル講演が果たす役割とその影響について述べられました。開講当時は、導入教育の一環として進められた「お茶の水女子大学論」でしたが、2012年度以降はキャリア教育やリーダーシップ養成という目的も追加され現在に至っているそうです。その間、ロールモデル講演を行った卒業生の数は、延べ100名に上り、年代もライフスタイルもさまざまな卒業生による講演が行われてきました。「お茶の水女子大学論」においては、毎年6名程度の講師によるロールモデル講演が行われており、受講生が卒業後のキャリアや働き方を考える上で貴重な情報を得る機会となっています。他方、講演者である卒業生にとっても、自身のキャリアや生き方を見つめ直す機会として有意義なものとなっていると鹿住氏は指摘されました。卒業生と在校生双方に良い影響がみられるロールモデル講演は、変化しつつある女性のキャリアを考える上でも重要であり、女子大学ならではの意義を有しているとまとめられました。

パネルディスカッション

シンポジウムの締めくくりとして神田先生の司会によるパネルディスカッションが行われました。今年度のシンポジウムでは、昨年度からの継続的な課題である「女子大学と社会との関係」について、女子大学を卒業した「わたしたち」のつながりやネットワークから検討していきました。報告者による各大学の事例を通じて、それぞれの大学の個性は、その

後のつながりにも影響を与えていることが示され、さらには、女子大学に共通することからもあることが明らかとなりました。共通点としては、結婚・出産を経て女性が戻れる場所としての同窓会の存在や、自らが受けた学問の社会への還元などが指摘されました。「女子大学と社会の関係」を示す一例として、それぞれの大学における学びが卒業生の活動を通じて社会へと還元されるとともに、社会に出た卒業生による体験は、正解のないロールモデルとして大学へ環流していることが確認されました。時代の変化のなかで、同窓会を中心とした卒業生のネットワークにも変化が生じていますが、生活全般のサポートを広く担ってきた女子大学の同窓生の活動は、今後の多様化社会を生き抜く上で示唆を与えるものとなることがシンポジウムを通じて明示されました。

おわりに

2024年度は、「同窓」をキーワードに女子大学を起点として卒業後も続く「わたしたち」のつながりについて、比較的視点から横断的に分析しました。女性が四年制大学に進学することは特別なことではなくなりましたが、今回、ご紹介した多くの研究が取り上げた時期において高学歴女性は、まだまだ少数派でした。そのような時代の中で、女子大学を起点とした「同窓」のつながりは、高学歴女性の連帯の場として、また、公私をつなぐネットワークとして、機能を有していたことが事例を通して確認できました⁶。こういった女子大学のあり方を社会はどのように受け止めていたのでしょうか。

三年目となる今年は日本女子大学の差波亜紀子氏をお迎えし、「女子教育の歴史と意義」についてご講演いただく予定です。わたしたちが学ぶ／学んだ女子大学とは、どのような空間でどのような歴史的意義を持っていたのでしょうか。みなさまとともに、近代女子教育における女子大学の意義を引き続き考えていきたいと思います。

ご都合があれば、ぜひご参加ください。お待ちしております。

お茶の水女子大学創立 150 周年記念講演会

「近代日本における女子高等教育の歴史と意義」

【講師】 差波亜紀子氏（日本女子大学）

【開催日】 7月26日（土）14:00～15:30

【開催方式】 Zoom によるオンライン

【主催】 お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発
研究所比較日本学教育研究部門
メールアドレス：ccjs@cc.ocha.ac.jp

【詳細】 <https://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/>

※参加を希望される方は、HP内の専用フォームよりお申込みください。

6. シンポジウムの開催にあたっては、ご協力いただいたみなさま、そしてご参加いただいたみなさまに御礼申し上げます。

夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

2024年度の夢のつばさプロジェクトは、冬のキャンプが曜日の関係で1泊の行事になったことを受けて、春にも宿泊行事を企画しました。

1. 2025 春キャンプ

【日程】2025年2月22～24日

【開催地】ブリヂストン保養所 奥多摩園（青梅市）

【参加者】子ども：8名（高校生6名、大学生2名）、学生スタッフ・OB/OG（社会人を含む）：14名、社会人スタッフ：7名

◆主な内容

2月22日	午前 午後	送迎 国立科学博物館見学 ビュッフェディナー 開会式 国立科学博物館振り返り
2月23日	午前 午後	企画「格付けチェックゲーム他」 勉強時間 自由時間
2月24日	午前 午後	カード作成・交換 夢のつばさ卒業式 閉会式 送迎

1日目午後には国立科学博物館を見学しました。子どもたちは建物や展示物の規模の大きさ、内容の充実さに素直に驚き、喜んでいました。学生スタッフは、「後でクイズ大会をするので、展示に関するクイズを作っておくように」という課題を子どもたちに出し、貴重な見学機会を漫然と見逃さないようにする工夫をしていました。夕食後の振り返りでは、互いに展示物などに関するクイズを出し合い、楽しい時間となりました。



奥多摩園

朝食オムレツサービスが
大好評でした

本年度行ったアーチゾン美術館の美術鑑賞も国立科学博物館の体験も、子どもや学生たちにとっても好評でした。「これま

で一度も美術館に行ったことがない」と話す子どももあり、教育現場の方たちの努力にもかかわらず、子どもたちの育つ環境による体験格差は埋めがたいものがあるように思われます。夢のつばさでは「親を亡くされたことによって、成長段階における様々な体験や機会を失ってほしくない」と社会見学や教育的施設の観覧なども活動に盛り込んできましたが、今後も東北3県の子どもたちを対象に、この有意義な活動を続けていきたいと願っています。社会見学と同窓会を組み合わせることで、今後もよい活動ができるのではないかと考えています。

2. 奨学金について

2024年度、夢のつばさではそれぞれ大学や専門学校に進学している9名の子どもたちに奨学金を授与することができました。2024年度新しく支援対象となったのは3名の女子で、2名は日頃の努力が実って現役での国立大学入学を果たし、うち一人は医学部に進学を決めました。本人や保護者からも奨学金への感謝の言葉が届いています。また1名は一昨年度高校卒業後、進学していませんでしたが、本年度、保護者の元を離れ、首都圏の専門学校に進学を決めました。学生やOBOGたちは日頃から連絡を取って支えてきましたので、新しい生活を始めた決断を喜び、今後も引き続き応援しようとしています。夢のつばさの奨学金は、毎月1万円と少額ではありますが、特に学業用と用途を定めず、返済不要としています。学生生活の中で趣味や自己研鑽に自由に使えるように、また友人と遊びに出かける際や、何かの集まりで飲食費等が必要な時にも、ためらわずに参加できるように、という想いで用意しています。2024年度までに18名が奨学金支援を受け（2024年度で12名が奨学金終了）、2025年度は、さらに5名の大学進学者を加えて11名に支援を行います。

夢のつばさで活動を共にした子どもたちは福祉や教育などへの志向が高く、心豊かに成長していることをたいへん喜ばしく感じています。こうした子どもたちを応援できることを大変うれしく、多くの方々から手厚いご支援を頂けていることを、心より感謝申し上げます。

（夢のつばさ♥プロジェクト）

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店（店番号227）普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 柴 真理子 ※ 夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所（連絡先）を下記までお知らせください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 FAX：03-5976-1478 E-mail：tsubasa@npo-ochanomizu.org



お茶の水女子大学 イベント情報

2025年7月以降に開催される各種イベントのお知らせです。

お茶の水女子大学HPも併せてご覧ください。<https://www.ocha.ac.jp/>

※いずれも参加費は無料です。

OCHADAI OPEN CAMPUS 2025

年に一度の特別なオープンキャンパスを、7月に3日間限定で開催します。

各学部・学科による対面形式の説明会をはじめ、在学生によるキャンパスツアーや各種相談コーナーなど、進路選択を深めるための多彩なプログラムをご用意しています。

【タイムスケジュール】

7/19 (土) 【理学部】	① 14:00 ~ 17:00	・数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科
7/20 (日) 【生活科学部】 【共創工学部】	① 9:00 ~ 11:00	・生活科学部: 食物栄養学科、人間生活学科 (生活社会科学講座)
	② 12:00 ~ 14:00	・生活科学部: 人間生活学科 (生活文化学講座) ・共創工学部: 文化情報工学科
	③ 15:00 ~ 17:00	・生活科学部: 心理学科 ・共創工学部: 人間環境工学科
7/21 (月・祝) 【文教育学部】	① 9:00 ~ 11:00	・人文科学科 (比較歴史学コース)、言語文化学科 (英語圏言語文化コース)、芸術・表現学学科 (音楽表現コース)
	② 12:00 ~ 14:00	・人文科学科 (美術史分野)、言語文化学科 (中国語圏言語文化コース)、人間社会科学科 (教育科学コース)、人間社会科学科 (社会学コース)、芸術・表現行動学 (舞踊教育学コース)、グローバル文化学環
	③ 15:00 ~ 17:00	・人文科学科 (哲学・倫理学分野)、人文科学科 (地理学コース)、言語文化学科 (日本語・日本文学コース)、言語文化学科 (仏語圏言語文化コース)、人間社会科学科 (子ども学コース)

参加申し込みが必要です。また、事前予約が必要なプログラムについては、各プログラムへの個別の申し込みが必要です。詳細は、特設サイトをご覧ください。 https://www.ocha.ac.jp/web_oc/2025/

★お問合せ先 お茶の水女子大学広報・ダイバーシティ推進課 Tel : 03-5978-5105 E-mail : info@cc.ocha.ac.jp

開催日時	イベント・講座名	備考
7月1日 (火) 12:00 ~ 14:00	IGL 学生交流イベント 「リーダーシップを見つめ直す：東京の女子大学生たちの対話 (Redefining leadership: voices of women across Tokyo campuses)」 【登壇者】 お茶の水女子大学・東京大学の学生	【会場】 お茶の水女子大学国際交流留学生プラザ 2F 多目的ホール 【主催】 ノースウェスタン大学、お茶の水女子大学、東京大学 【対象】 どなたでもご参加いただけます (事前登録制) 【詳細・申込み】 https://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/event/d016407.html 【問合せ】 info-leader@cc.ocha.ac.jp (グローバルリーダーシップ研究所)
7月13日 (日) 14:00 ~ 16:00	第1回 ひろがる工学・つながる工学セミナー 【講演者】 五十嵐悠紀 氏 (お茶の水女子大学理学部情報学科 准教授)	【会場】 お茶の水女子大学 【主催】 お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所 【対象】 中学生 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
7月27日 (日) 14:30 ~ 16:30	第6回 グローバル講演会 【講演者】 磯野江利香 氏 (コンスタンツ大学生物学科 教授) TSANG Sin Yi 氏 (お茶の水女子大学理学部数学科 准教授)	【形式】 Zoomによるオンライン開催 【主催】 お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所 【共催】 お茶の水女子大学附属高等学校 【対象】 中学生・高校生、保護者、教員 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
8月2日 (土) 14:00 ~ 16:00	第5回 女子生徒の理系への進路選択支援を後押しするために 【講演者】 秋山久美子 氏 (お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所 特任助教) 久留戸涼子 氏 (常葉大学教育学部 教授)	【形式】 Zoomによるオンライン開催 【主催】 お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所・お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所 【対象】 教員、保護者 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】 HP内の専用フォームにて 【問合せ】 ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp

開催日時	イベント・講座名	備考
8月3日(日) 1) 9:00 ~ 12:00 2) 14:00 ~ 17:00	第9・10回 陸の植物観察会 【講師】 岩崎貴也氏(お茶の水女子大学理学部生物学科 講師)	【会場】お茶の水女子大学 【主催】お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所 【対象】中学生 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP内の専用フォームにて 【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
8月9日(土) 14:00 ~ 16:15	お茶の水女子大学創立150周年記念事業 第52回 リケジョー-未来シンポジウムスペシャル 【講演者】 浅見唯葉氏(株式会社東京大学 TLO) 野田響子氏(お茶の水女子大学生活科学部食物栄養学 科 助教) 山下暁香氏(ダークトレース・ジャパン株式会社)	【形式】ハイブリッド開催(お茶の水女子大学& Zoom) 【主催】お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所 【対象】中学生・高校生、保護者、教員、大学生・大学院生 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP内の専用フォームにて 【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
8月24日(日) 14:00 ~ 16:15	第1回 情報理工学入門セミナー 【講師】 稲見昌彦氏(東京大学先端科学技術センター 教授)	【会場】お茶の水女子大学 【主催】お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所 【対象】中学生・高校生、保護者、教員 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP内の専用フォームにて 【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
9月14日(日) 14:00 ~ 15:30	第5回 中高生のためのイノベーションセミナー 【講演者】 川勝麻美氏(BASF ジャパン株式会社)	【形式】ハイブリッド開催(国際交流留学生プラザ2階多目的ホール & Zoom) 【主催】お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所 【対象】中学生・高校生、保護者、教員 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP内の専用フォームにて 【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
9月23日(火・祝) 14:00 ~ 15:30	第5回 フロントランナーセミナー 【講演者】 廣瀬史子氏(宇宙航空研究開発機構)	【形式】Zoomによるオンライン開催 【主催】お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所 【共催】お茶の水女子大学附属高等学校 【対象】中学生・高校生、保護者、教員 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP内の専用フォームにて 【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp
9月28日(日) 1) 9:00 ~ 12:00 2) 14:00 ~ 17:00	第4・5回 先端科学ジュニアセミナー 【講師】 伊藤瑛海氏(お茶の水女子大学 特任研究員)	【会場】お茶の水女子大学 【主催】お茶の水女子大学理学系女性育成啓発研究所 【対象】中学生 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/ 【申込み】HP内の専用フォームにて 【問合せ】ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp

お茶大女性リーダー育成塾：き いんじゅく 2025年度 塾生募集

最新情報はパンフレット・ホームページ・Xをご覧ください。
 微音塾ホームページ <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>
 または、「きいんじゅく」で検索してください。

お茶の水女子大学「お茶大女性リーダー育成塾:微音塾(きいんじゅく)」は、多様な分野でリーダーシップを発揮することをめざす女性の学びと交流の場を提供しています。

2025年度の講座全14科目は、魅力あふれる多彩な内容です。人気の講座に加えて新規に9講座を設けています。全てオンラインで受講いただけるほか、対面開催は9講座あり、平日夜間や90分講義を新設しています。1科目から受講が可能ですので、お気軽にお問合せ、お申し込み下さい。

また2026年1月10日(土)におこなわれる特別講演(無料)はNHKドラマ「虎に翼」の脚本家である吉田 恵里香氏にご登壇いただく予定です。是非ご参加ください。

時間	① 土曜日 13:30 ~ 15:00 (90分) ② 土曜日 13:30 ~ 15:00、15:10 ~ 16:40 (180分) ※途中休憩あり ③ 平日夜間 19:00 ~ 20:30 (90分)
方式	オンライン(Zoom)と対面のハイブリッド ※1科目から受講可能です。 ※最新情報はHP、Xをご覧ください。



〈お問い合わせ・連絡先〉お茶大女性リーダー育成塾：微音塾 事務局
 E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

2025年7月以降の講座(①、②、③は左記の時間区分です)

区分	開催日 時間	開催方式	テーマ	講師
E	7/5(土) ②	対面・ オンライン	日本の女性の働き方はどう特徴づけられるのか	永瀬 伸子
E	7/12(土) ①	オンライン	しなやかに組織で道を切り開く	矢島 美代
B	7/19・26 (土) ②	オンライン	ビジネスリーダーのための会計入門	成岡 浩一
B	8/2・23 (土) ②	対面・ オンライン	新規事業開発と起業の基本? 事業化のカナメ?	鹿住 倫世 駿河 かおり
P	8/8(金) ③	対面・ オンライン	組織における女性リーダー育成 -日本企業の課題-	寺村 絵里子
B	9/6・20 (土) ②	対面・ オンライン	リーダーのためのコーチング講座	重次 泰子
P	10/4(土) ②	対面・ オンライン	イノベーションの創出 -建築デザインを通して考える-	後藤 武
B	10/18・25 (土) ②	対面・ オンライン	マーケティング入門	神原 理
E	12/6・13 (土) ①	対面・ オンライン	経営戦略としてのコーポレートガバナンス	田中 享子
P	2026 1/17・24 (土) ②	対面・ オンライン	働くあなたを守る、知っておきたい労働法	内藤 忍

2025 年度 ブータン連続セミナー



【形式】 Zoom によるリアルタイム配信
 【主催】 グローバル協力センター、日本ブータン研究所
 【対象】 お茶の水女子大学関係者・一般
 ※各回の詳細内【参加申込フォーム】よりお申込みください。
 ※開催時間はすべて 15:00 ~ 16:30 です。

【問合せ】
 グローバル協力センター講師 平山雄大
 E-mail : hirayama.takehiro@ocha.ac.jp

開催日時	イベント・講座名	備考
7月4日(金)	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ(64) —『101 EAST』『Bhutan's Climate Crisis』(カタルー・2025年)他—」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20250704.html 【申込み】 https://forms.gle/J5wwFNWWhsythm9Nf6
7月18日(金)	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ(65) —『60 Minutes』『Bhutan Building Mindfulness City to Create Jobs, Lure Young Bhutanese Home from Abroad』(アメリカ・2024年)他—」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20250718.html 【申込み】 https://forms.gle/sbLr34RTYaACf15T6
8月8日(金)	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ(66) —『CNA Correspondent』『Can Bhutan's New Megacity Help Reduce High Youth Unemployment & Brain Drain?』(シンガポール・2024年)他—」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20250808.html 【申込み】 https://forms.gle/L6RqJH1P6Qek3VnH8
9月5日(金)	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ(67) —『DW Documentary』『Bhutan: A Journey to the Unknown South』(ドイツ・2024年)他—」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20250905.html 【申込み】 https://forms.gle/mSfBgLyUxhp8DwsP6
10月3日(金)	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ(68) —『Tigers of the Dragon Kingdom』(ブータン・2023年)他—」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20251003.html 【申込み】 https://forms.gle/gY1rYp8KtFt99zQB8
10月17日(金)	「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ(69) —『Bhutan's Democracy: A Decade On』(ブータン・2019年)他—」	【詳細】 https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20251017.html 【申込み】 https://forms.gle/BLwE3zyUEQqadCEZ9

桜蔭会よりご案内

桜蔭塾 <https://www.ouinjuku.com/>

お茶の水女子大学内外の先生方や桜蔭会会員の方を講師に迎え、対面・オンラインのハイブリッド形式での講演、各種イベントを開催する「学びと交流の場」です。



桜蔭塾

● 桜蔭塾講演

第28回
 向 多美子 氏 (弁護士、S63 物卒・桜蔭会会員)
 「法的観点から考える終活のすすめ・・・相続を中心に」
 ～残された大切な人たちのために～
 【日時】 9月28日(日) 14:00 ~ 15:30
 【会場】 国際交流留学生プラザ 4F + Zoom?
 【受講料】 桜蔭会会員／お茶大在学学生(大学院を含む)：無料
 非会員：1,000 円
 【申込締切】 9月23日(火)

●【就活応援企画】卒業生のキャリアトーク

【日時】 10月19日(日) 14:00 ~ 15:30
 【対象】 お茶大在学学生(大学院を含む)
 【参加費】 無料

● 大人の学びなおし「数学っておもしろい？」

【日時】 7月13日(日) 14:00 ~ 15:30
 【会場】 国際交流留学生プラザ 4F
 【参加費】 500 円/家族 ※親子参加も可能です。

● 桜蔭塾「ブリッジ入門講座」

【日時】 第1,3 木曜日 10:00 ~ 12:00
 【会場】 国際交流留学生プラザ 3F 会議室
 【講師】 大塩裕子 先生
 【参加費】 3,000 円程度/月

■ 就活応援 ZoomでOG訪問

学生さんのお申し込み& OG アドバイザー募集中!
 就活に悩んでいる学生さんと希望の OG アドバイザーとで「1対1」の就活相談(30分~45分/回)ができます。



学生 OG 訪問
お申込み



OG アドバイザー
ご登録



事業会スタッフのよもやま話

お茶の水学術事業会のスタッフが、半生を振り返ったり、自身の経験を通して考えたことをつづやくコーナーです。

私と仕事 (下)

宇津木美恵子
(昭和 57 年生物学科卒)

私は四大卒業後、企業で5年働き、出産退職。17年間子育てと家事、PTA 役員に明け暮れる専業主婦を満喫していました。末っ子が小学校3年生の頃、まったく専門外ではありませんでしたが、子育てしながら働ける工学系の研究室の実験補助として、扶養範囲内のパートで働きはじめました。

時間は流れ、私はとうとう60歳になりました。「還暦」と周りから呼ばれて、嬉しいのか悲しいのか。複雑な気持ちで、定年という制度のもとに、16年間勤めた実験補助のパート仕事を退職しました。

そこで路頭に迷うことになるのですが、運とは不思議なものです。卒業大学での子育て中の研究者支援の仕事や、さらには公的機関の研究所での仕事の話が舞い込みました。やっと大学の専攻分野である、念願のバイオの世界に突入することができたのです。扶養範囲内で働くべし、家事や子育てに影響を与えない働き方をすべし、という昭和的な縛りの中で、「働ける条件」から選ばざるを得なかった仕事をしてきた16年間に終わりを告げた瞬間でした。これからは「働きたい仕事」を選ぶことができる！そう思えた瞬間でもありました。大学時代に学んでいた時期より40年以上も経った生物の世界は、生命科学という新たな世界に大きく飛躍していました。大学生に戻った気持ちで、新たな実験の手法を知りました。知的好奇心が膨らみ、学ぶ意欲も湧く仕事でした。仕事って面白い！仕事に対して初めて味わった感動かもしれません。

しかし、その時の研究補助の仕事は、雇用契約書を交わさない働き方〜いわゆる謝金扱的な仕事で、雇用保険や労災保険もなく交通費も出ない、というものでした。働く人が守られている仕事ではないなあと感じ始めました。いずれも一時的な作業だったため、2年程で終了。またまた路頭に迷う身分になりました。そこで、派遣会社に登録することにしました。40社くらい書類審査や一次面接で落選。年齢が年齢だし、経験もないし、働く場はないのかなと諦めかけていたころ、やっと私立医大の実験補助の仕事が見つかりました。産休代替の仕事のため1年間だけでしたが、そこでも多くのことを学ぶことができました。

産休代替の1年が終了した後も、派遣会社の力添えで、やはり同様な私立医大のダイバーシティ推進部門での子育て中の研究員補助の仕事につくことができました。今は3年目。社会保険にも加入しました。実質、夫から経済的に自立した

形となり、やっと社会人として認められた気分です。住民税を支払う時、この横断歩道の塗装や信号機のメンテの一部は、私の税金が役立っているのかなと思うと、ちょっといい気分もします。

かねてより、時間制限のあるパート仕事の隙間時間を利用してダブルワークをしていました。7年ほど前から始めたスーパーの開店前店舗の清掃作業などを行うモーニングスタッフの仕事。さらに4年前から始めたNPO法人での事務仕事。それらは、現在も継続しています。

いろいろな分野で働くことで、さまざまな世界を垣間見ることができ、多くの人と触れ合えます。気づかなかった世界にも目が留まります。駅や公園で清掃を担っている人々には、同業者としての意識が芽生え、「ありがとうございます。きれいにしていただいたおかげで快適に駅や公園を利用できます」とそっと心の中でつぶやきます。また、経済的余裕もできたように思え、老後の備えにも少しは役立つような気がしています。

ただし、私のような働き方の場合、いつまでたっても初心者。評価される仕事ではないので自信もつきません。いつも「経験なく初めてです〜」と言わざるを得ず、決してプロにはなれません。またあくまで数か月から1年契約の非正規雇用。仕事の全貌は見えない、その場限りの作業という感覚も否めません。きちんと正社員で働くことの重要性を身にしみて感じます。

しかし、今さら、正社員などという贅沢は言っていられません。ただひたすら今は、バイオ(生命科学)の仕事が面白くてたまらない心境です。我が子の年齢に近い子育て中の研究員の助けになっていると思うと、実験補助という今の仕事は本望かもしれません。かつて子育てと家事だけに専念して社会で働くことを放棄していた私にとっては。

前期高齢者となった今、いつまで働けるのかな？いつまで雇ってもらえるのかな？仕事の能力の老化はどんなものだろうか？など、たくさんの不安もあります。しかし、そんな不安も吹っ飛ばし、目標として70歳まではフルタイムで働いてみたい、そんな思いでいっぱいです。

人生100年時代。70歳でリタイアしたら30年も若い世代に支えられることになります。若者たちを助ける思いで、できる限り支える立場でいたいと思う、今日この頃です。

お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

1. 2024年度 活動報告

(1) 教育・研究活動に関する事業

- ① 国内学会の企画運営、国際学会等の準備事業
 - ・事務代行業務 (11 団体)
- ② 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業
 - ・助成金事業 (1 件)・講演録作成 (1 件)・HP 作成・管理請負 (2 件)
 - ・イベント情報のメール配信 (3 件)
 - ・「夢のつばさ♥プロジェクト」 (<https://www.npo-ochanomizu.org/tsubasa/>) キャンプ (3 回)、日帰り交流会 (1 回)、キャンプ外交流 (パスデーカード・新聞送付、学習支援)、卒業お祝い金 (6 名)、奨学金 (9 名)

③ 学術関連等の出版事業

- ・お茶の水女子大学 E-book サービス 製本版販売 (2 件)

(2) 男女共同参画社会のための啓発事業

① 機関紙 (誌)、教育・研究等に関する啓発書の発行

- ・会報 [ellipse] 発行 (第 64 - 66 号)
- ・お茶の水ブックレット販売

② ホームページ運営 : <https://www.npo-ochanomizu.org/>

(3) その他事業

- お茶大ゴルフ・クリアファイル・一筆箋販売

2. ご入会・ご寄付

随時受け付けております。

○ 会員区分と会費額

一般 (正会員/賛助会員)	会費 1 口 6,000 円 1 口~
終身 (正会員/賛助会員)	入会時のみ 50,000 円 (70 歳以上の方)
法人会員	年会費 1 口 30,000 円 1 口~

※正会員には議決権があります。

○ 会費・ご寄付のお振込先

【振込先】 ゆうちょ銀行 (郵便振替口座)

【口座番号】 00100-3-583029

【口座名義】 特定非営利活動法人お茶の水学術事業会

※ 所得税の寄付金控除の対象にはなりません。

※ ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所 (連絡先) をお知らせください。

ご連絡・お問合わせ

お茶の水学術事業会事務局

Email : info@npo-ochanomizu.org

TEL : 03-5976-1478 (月 ~ 金 10 時 ~ 16 時)

[Intersectional Design Cards] 待望の翻訳版

「交差性デザインカード」のご注文を受け付けています。

Intersectional Design Cards は、ジェンダード・イノベーションの提唱者であるスタンフォード大学のロンダ・シービンガー教授たちのチームにより、2021 年に出版されたものです。

このたび、お茶の水女子大学ジェンダード・イノベーション研究所が、この教材の翻訳版を作成し、お茶の水学術事業会が販売することになりました。

交差性 (Intersectionality) とは、年齢、性別、学歴、地理的な場所、社会経済的地位といった、社会における構造的な有利・不利を生じる不公平の交差や重なりを意味します。

「交差性デザインカード」は、交差性に配慮した課題解法の探索に役立つようにと考案されたもので、交差性要素 (Intersectional Factor) の定義のカード 12 枚、デザイン検討のための問いのカード 12 枚、事例研究のカード 16 枚とカードの使い方が書かれたガイドブックがセットになっています。製品やサービスの包摂性を高めることに役立つほか、多様性や包摂性についての理解を深める教材としてもご活用いただけます。

● ガイドブックの内容

交差性デザインカードへようこそ・なぜこのカードを使うのか?・交差性とは?・交差性要素とは?・交差性デザインとは?・デザインとは?・カードの使い方・デザイン活動・事例研究索引・参考文献

※ お茶の水女子大学 ジェンダード・イノベーション研究所の HP に、交差性デザインカードの解説、この教材を使用したワークショップの紹介がございますので、ご参照ください。 <https://www.cf.ocha.ac.jp/igi/j/menu/publicationsintersectionaldesigncards.html>

【定 価】 本体 3200 円 + 税

※送料、代金の振込手数料は別途ご負担いただけます。

【発 行】 2025 年 4 月 1 日初版

【著 者】 ハンナ・ジョーンズ、
ロンダ・シービンガー、
アン・グライムズ、
アンドレア・スモール

【翻 訳】 お茶の水女子大学ジェンダード・イノベーション研究所

【発 行】 特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会

■ ご注文は、メールまたは FAX で受け付けます。

Email info@npo-ochanomizu.org

FAX 03-5976-1478

① 注文数、② ご注文者様のお名前・連絡先、③ 送付先住所・電話番号、④ お支払い方法をお知らせください。

お茶の水学術事業会の HP から専用の注文用紙 (Word) をダウンロードしていただくことができます。

<https://www.npo-ochanomizu.org/>



編集後記

TOPICS の「女性が四年制大学に進学することは特別なこと」というフレーズに、「本人の努力次第」と言われた自分は恵まれていたのだと気づかされました。娘の出産で「産後/育児休」なるものを目の当たりにし、驚愕するとともに自分の時にもあったらと思いました。時代は流れ続けているのだと感じます。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は 2025 年 10 月に 2500 部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1 回につき 20,000 円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

OPEN 月~金 10:00 ~ 16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3 号館 204

TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org

<https://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合わせの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地

東京都文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学
理学部 3 号館 204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩 7 分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩 8 分

都バス
大塚 2 丁目バス停すぐ